

立命館宇治中学校・高等学校

京都府 宇治市

<私立 共学 帰国入試 海外入試 転編入 寮>

[学校ホームページはこちら](#)



〒611-0031 宇治市広野町八軒屋谷 33 番 1
近鉄京都線「大久保」・JR 奈良線「新田」よりバス 10 分
JR 奈良線「宇治」よりバス 15 分

帰国生在籍数 約 320 名

沿革

立命館大学の附属高校として 1994 年に設立、2002 年に中学校が開校された。以来多くの帰国生を毎年受け入れている。関西の一条校として初めて IBDP(国際バカロレアディプロマプログラム)認定校となり、2010 年度から IB コースを開始。2014 年度に SGH(スーパーグローバルハイスクール)指定、2019 年度には「WWL(ワールドワイドラーニング)コンソーシアム構築支援事

業」の全国 10 校の拠点校として文科省から指定を受けた。多彩なプログラムを通して世界で活躍できる力を育てる教育を実践している。

教育の特色

①コースによる独自のカリキュラム

入学時から希望進路に合わせたコースに分かれ、独自のカリキュラムで学習する。

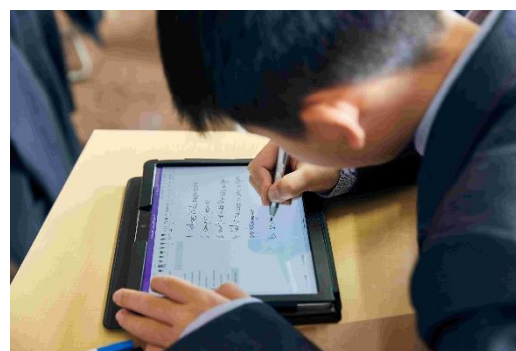
<中 学>

IP コース (1 クラス)

高校 IB コースへの準備コース。IB の理念に沿ったカリキュラムで、英数理社の授業はネイティブ教員が英語で行う。クラスは日本人とネイティブ教員によるデュアル担任制。国語は IC コースと同じ教科書で学ぶ。

IC コース (5 クラス)

少人数クラスで ICT を活用した探究型の学びを行う。英語はグレード別授業で、リサーチプロジェクト、独自の数学学力テストや英検を取り入れた学習で基礎学力を徹底して鍛える。高校 IM コースまたは IG コースに進学する。



<高 校>

IBコース (2クラス)

IBディプロマの取得と海外の大学への進学を目指す。国語以外の全教科の授業は、英語で行われ、IBDPの3つの核TOK(知識の理論)、CAS(創造・活動・奉仕)、EE(課題論文)と6つの科目群を履修する。ディプロマ取得率が高く、2023年卒業生はDP取得率100%、半数の生徒がスコア40以上という成績を挙げて、多くが世界トップ20を含む大学に進学した。2023年度から2クラスに増えて、2021年完成の新校舎はIBコースのホームルーム教室、国際教員室、理科実験教室、美術室、大会議室を備え、IB教育の拠点となっている。

IMコース (2クラス)

イマージョン授業と留学により英語力と学力を身につける。出願時に下記プログラムのいずれかを選択し(入学後は基本的に変更不可)、高1から全員が1年間(理系進学者は7カ月)、カナダ、ニュージーランド、オーストラリアの高校に「1校1人」で留学する。帰国後はイマージョンまたは日本語授業のプログラムで3年間の課程を修了する。

留学IMプログラム 帰国後も国語以外の授業を英語で受け、TOEFL ITP550点を目標に英語力をのばす。立命館大学国際関係学部や立命館アジア太平洋大学への進学、海外大学などの道が開ける。

留学プログラム 帰国後はIGコースに入り、日本語で授業を受ける。理系希望者はカナダ留学中もインターネットで日本語での数学補習を受講する。立命館大学各学部、国内他大学へ進学。

IGコース (8クラス)

文理の枠を超えて自由に科目を選択できる。IBの理念に基づく探究学習を行い、高いプレゼンテーション能力やICT技術を身につける。高2からは理系に特化したSCS、国際系に特化したGCSというストリームが用意されている。

SCS(サイエンス・キャリア・ストリーム)

理系学部への進学希望者対象のプログラムがある。大学と連携して、研究室の訪問や講演会を実施。実験や実習を通して探究型学習を行う。

GCS(グローバル・キャリア・ストリーム)

国際系学部への進学を視野に英語力を育成、SDGsを軸に「グローバル」な視点で課題研究を行い、模擬国連やビジネスコンテストなどに参加する。第二外国語(中国語・フランス語)も選択できる。



②英語教育・国際教育

- ・40名のネイティブ教員がいて、IP、IBコースでは、資格を持ち経験を積んだ教員が英語で授業を行う。
- ・中高とも入学時に行うテストで習熟度別に分け、少人数授業を行う。
- ・多彩な海外研修がある。
 - オーストラリアでのホームステイ、語学研修(2週間 中3全員)
 - フィリピン・セブ島でマンツーマン形式による英語集中レッスン(1週間 中2希望者)
 - ブリティッシュ・コロンビア大学(3カ月)、ダブリン・シティ大学(3週間)への留学(高3希望者)
- ・APU(立命館アジア太平洋大学)で学ぶ国際学生約30名を招き、交流する(中2)。
- ・グローバル・チャレンジ・プログラム

国際会議やワークショップへの参加を通してアカデミックな体験ができる授業。企画を応募し、選考に通った生徒が学校の代表として参加する(中高)。

- ・WWL(ワールドワイドラーニング)コンソーシアム構築支援事業拠点校として他の高校と「AL(アドバンスト・ラーニング)ネットワーク」を形成、大学や企業と連携して新しいカリキュラムを開発、実践する。「SDGsの実現」をテーマとして全国高校生SRサミット等を主宰する(IG・IM)。

③立命館大学、APU(立命館アジア太平洋大学)との連携

- ・学内推薦によって立命館大学の全学部、APUへの進学が可能。TOEFL ITP400点は推薦要件の1つ。特定の学部希望者が集中した場合、学業成績等から算出した「総合得点」によって優先順位をつける。外部受験する場合は学内推薦の資格は11月まで保留できる。
- ・受験にとらわれない探究型学習「コア探究」の中で課題を設定、論文に仕上げ、大学での学びにつなげる。
- ・立命館大、APUの学生や社会人になった卒業生から話を聞く「キャリアナビ」を各学期に数回ずつ行い、先輩の体験談を聞いたり質問したりする中で進路や将来のキャリアを考える。

④寮設備

- ・フィリッツハウス 高校生男女 全員バスで通学。学校から約20分、京阪バス「森本」すぐ
- ・自宅からの通学時間が1時間30分を超えることが入寮の目安
- ・2人部屋 192室(男子111室 女子81室) ・在寮の約3分の1が帰国生
- ・週末も食事が提供される
- ・夏、冬、春季の休暇中は閉寮となるが、理由が認められれば在寮可。各休暇中、約1週間の完全閉寮あり
- ・疾病時は、寮スタッフが病状に応じて、医療機関の紹介(病状が重篤な場合は付き添い)や病人食等を提供
- ・寮担当教員とハウスマスターが男女ペアで常駐 ・国内保護者あるいは保証人が必要
- ・現在の生徒寮は2026年3月末をもって閉寮し、2026年4月からは学校敷地内での運用開始予定



先生よりひと言

立命館宇治中学校・高等学校は、立命館大学の附属中高一貫校として、世界で活躍できる人材育成を目指しています。これまでたくさんの帰国生が本校に入学し、学習の分野のみならず課外活動の分野などでも様々な活躍をしています。帰国生は一足早く海外を経験し、異文化・異言語を体験し、いろいろな能力を身につけた人です。立命館宇治には、帰国生一人ひとりの経験と能力を活かし、さらに伸ばし、また活躍できる場がたくさんあります。一人ひとりのこれまでの経験が異なるからこそ、本校での新しい出会いと多様な学び合いが実現しています。本校の多様な学びを通して、将来、日本や世界で活躍・貢献できる人になってくれることを期待しています。



帰国生受け入れについて

※最新の情報は、学校ホームページおよび募集要項でご確認ください。

帰国生を積極的に受け入れている。国際センターがあり、現地校やインター校に勤務経験のある教員などが、日本の生活や学校への適応をサポートする。国際交流を始め、帰国生が英語力をいかして活躍できる場面も多い。

①受け入れの理由、求める帰国生像

“Diversity and Inclusion”を大切にする学校として帰国生を歓迎している。海外で培った国際感覚や語学力をこの学校でさらにのび、世界で活躍できる人に成長してほしい。

②選考

- ・科目試験、海外での成績などから総合的に判断する。現地の教育環境、学習進度などを考慮する加点制度がある。
- ・小論文は論旨や考えをどのように展開しているか、リーディングは文の内容を的確につかめているかを見る。
- ・面接ではこの学校のカリキュラムに対する理解と意欲が問われる。試験方式により英語/日本語の指定がある。
- ・海外入試はオンラインを併用して実施。事前にインターネット環境やカメラの設定を確認する。
- ・編入は、中学全学年、IB(高1の1月入学)、IG(高2の9月入学)まで。11月入試は海外会場でも受験できる。定員に空きがある場合の募集なので、早めに問い合わせるとよい。

③必要な準備

海外での学校の成績を上げる。選考方法に応じて、英検など英語力の客観的評価を得たり、過去問題を解いたりする。入試のサンプル問題はHPで見ることができる。書類を早めに準備すること、また学校を訪問してほしい。

④受け入れ後の状況

- ・現地校やインター校の出身者を対象に、中学では入学・編入後1年間、放課後に国・数・理・社の補習を行う。高校でIGコースへの入学・編入生は、1年生の間、国・社・数を少人数の習熟度別クラスで学ぶことができる。
- ・国際センターによる個別面談を帰国生全員に実施。
- ・保健室にスクールカウンセラーが常駐し、相談に応じる。保護者も予約の上相談できる。

卒業生の声

- ・生徒が興味を持つような学外のプログラムへの取り組みが、充実していました。私もいくつか参加しましたが、先生が背中を押してくださり、熱心にサポートをしてくださいました。また、みんなの前で発表する機会をたくさん持たせてくださいました。その時のプレゼンテーション力やチャレンジ精神が、社会人となった今でも生きています。(マレーシア日本人学校出身)

卒業生保護者の声

- ・6年間のイギリス生活から帰国後、中学、高校の6年間お世話になりました。中学では、クラブ活動で基本的な生活習慣や忍耐力を身につけ、高校では、IB教育で学んだリスクテイキングやTOK(批判的思考を培う)の考えから本当の意味での生きる力を得て、イギリスの大学に進学。現在も目指す方向に頑張っているようです。(イギリス現地校出身)
- ・担任は父親のように優しく、時に厳しく、また英国からギャップイヤーで来ていたチューターは兄のように親しく息子のメンタルを見守り支えてくれました。合唱祭では歌声に魂を揺さぶられ、親子で涙腺崩壊する感慨深い体験となりました。まったく日本で教育をうけたことがなくごちなかつた息子にとってベストなソフトランディングだったと思います。(イギリス現地校より編入)



かけはし

観光地としても人気の宇治にあって、近鉄、JR、京阪それぞれの駅からバスで住宅街を抜けて約10分、正門内にあるバス停で降りると、レンガ色の円形校舎と鮮やかな緑の全面人工芝のグラウンドが目の前に広がります。全生徒の2割が帰国生、滞在国は39カ国にわたるようで、体験を友だちと共有でき、海外で得た経験を生かしながら希望進路に合わせた教育を選択できる点が魅力になっています。



中学校入学の段階からコースに分かれ、それぞれ別のカリキュラムで学びます。IBディプロマ取得に向けて本格的なIB教育が行われる中学IPコース、高校IBコースは、入学希望者が多いため2023年度から高校が2クラスに増えました。卒業生の半数以上がスコア40以上(※満点は45、世界平均28.5)、DP取得率100%という目覚ましい成績は、「英語で授業が受けられる環境が整っていること、そして何より、経験を積んだ多くのIB教員がいることが実を結んだ結果」とうかがいしました。海外のトップレベル大学の他、国内でもIB入試を経て国立大学の医学部に進学した生徒さんもいるそうです。2021年完成の新校舎はIB専用棟で、教育環境がますます充実しています。



中学ICコースは、日本人学校出身者や国内一般生も多く、高校では主にIMコース、IGコースに進学します。少人数授業とグループワークでの探究学習により、高いICTスキルや英語でのプレゼンテーション力を身につけられるのが特徴で、高校生になるとWWL事業の拠点校としてさまざまな国際会議を英語で主催して、文部科学大臣賞も受賞されました。計画から運営まですべてを生徒が主体となって取り組むようで、授業で培った英語力を発揮して、大きなイベントを自分たちの力でやり遂げる達成感はとても大きいとかがいきました。

高1からの留学を必須とする高校IMコースは、現地の高校1校に1人という「頼る人のいない環境」と、帰国後のイマージョン授業により、アカデミックな英語力を身につけられるプログラムです。留学制度を持つ学校は多い中で、帰国後に英語力をさらに伸ばすだけでなく、理系進学にも必要な単位も取得できるというのは、この学校ならではのユニークで充実したカリキュラムだと感じます。

立命館大学への内部進学は、どのコースからも全学部に分岐が用意されており、ほとんどの生徒が第一希望の学部に進めるとのことです。また、プレゼンテーション能力や英語力をいかして、総合型選抜で他大学に進学する生徒も増えているそうです。いずれのコースも特色があり、入学後はカリキュラム上、変更が難しい場合もあるため、出願時から将来の進路についてしっかり考えておく必要があります。

ふだんの授業はコース別ですが、体育祭、文化祭、合唱祭などの行事では、クラスや学年の枠を超えて一致団結して大変盛り上がるそうです。クラブ活動も盛んで、全国大会で好成績を挙げる強豪チームもあり、数々のトロフィーや賞状が並んでいました。広いラウンジでは、パソコンを開いて一人で勉強に取り組んだり、グループで活発に英語で話し合ったり、チェスを楽しんだりする生徒さんたちの姿がありました。自分のペースで、それぞれの活動に取り組んでいるように、多様性を大切にされているこの学校の居心地の良さを感じました。

長年にわたる帰国生受け入れの経験から、海外の現地校やインター校、日本人学校それぞれの出身者が抱える事情について先生がよくご存じで、サポート体制が充実していること、また寮が完備されていることも安心に感じました。入試だけでなく入学後の学校生活についても相談に乗ってくださいますので、お問い合わせされるとよいでしょう。

担当者から見た学校の特色 IB教育・英語教育・国際的な探究学習・帰国生の受け入れ態勢